



NO.1389

11月6日号

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四四三、四四五八  
F四三、四四五七



# 声をあげれば政治は変えられる！

2018年、2019年、2021年の議会の一一般質問で、共産党の松浦敏司議員は、「学校給食の無償化実施」を要求してきました。また新日本婦人の会は、毎年「対市交渉」で給食費の無償化（助成制度）を長年要求してきました。市民団体などからも「無償化を求める請願」もあげられていました。

学校給食法では、設置者が負担すべきものと保護者が負担すべきものとの区別が定められ、網走市では給食食材費は保護者負担としています。しかし、文部科学省は「地方自治体が補助金導入にあたり、学校給食法の趣旨は設置者の無断で保護者負担を軽減、または負担なしとすることが可能である」との見解を示しています。

憲法26条は「義務教育はこれを無償とする」と明記しています。この憲法の精神に立てば学校給食も無償にすべきだと考えます。

網走でも長引く不況で賃金は下がったままで暮らしが大変です。加えて、新型コロナウイルスの感染症拡大で厳しさが増してきて、子育て中の家庭は、物価の高騰で実質賃金が下がり暮らしは一段と厳しい状況になっています。

また、子どもの貧困率は7人に1人と言われ、ひとり親家庭では2世帯に1世帯と言われている、コロナ禍で貧困率は増えていることが想像できます。

物価高騰の影響は、網走の小中学校に

## 「赤旗」キャンペーン実施中 お知り合いの方へ紹介ください

いま話題の 国葬、統一協会 鋭く追及  
スクープ 速発で注目  
暮らしに役立つ 情報も満載

### 「しんぶん赤旗」日曜版 無料お試しキャンペーン

「しんぶん赤旗」日曜版を3週間（3回分）続けて無料でお配りします。

お試し後もぜひお読みください 1ヵ月930円

日本共産党本部申し込みページ  
[https://sa.akahata.jp/akahata\\_mihon.html](https://sa.akahata.jp/akahata_mihon.html)

事務所 連絡先

## 松浦 奮戦モロ



市長選挙が10月30日に告示になり、ただ今選挙の真っただ中です。この間、選挙準備で忙しかつたためか、あつという間に11月になりました。選挙の初日は、大雨と強風でびしょ濡れなる厳しい一日でした。それにしても今年は雨がよく降りますが、天気と選挙の影響で、わが家の畑は片付けができていません。大豆は抜いて天日干ししていますが、乾く暇がないため腐ってしまったのではないかと心配しています。それもこれも選挙が終わらないと、どうにも対処のしようがありません。

さて、話は変わりますが、私たち議員団が行った市民アンケートが、たくさん返ってきています。これまでよりも若い世代からの返信が増えているように感じます。中には、暮らしが大変なことが切々と書かれていて、これからの議員団の活動に参考になることがたくさんありました。12月議会や来年の市議選の政策にも十分生かせる内容となっていますので、重要な資料として活用させていただきます。

## 村々 駈ける



だんだん寒くなり、朝晩にストロブを入れる日が多くなりました。厳冬期に心配なのが水道管の凍結です。

修繕業者は市内に16社ほどありますが、年々技術者が高齢化し、技術の継承が難しくなっています。以前より公共事業費が減ったため社員を抱えるのが難しいのが現状です。老朽化した道路を直し、合わせて水道管の入れ替えを行うべきです。

今年から市内の会社に若い人が就職すると、市が5万円の応援金を出す事業が始まっています。しかし、国が中小企業を応援する抜本的な対策が必要です。会社が負担する社会保険料を国が援助し、雇用し易くすることにより、人口も増え、若い人たちが地域に根づくようになるのではないのでしょうか。国に求める自治体にしたいたいものです。

本格的な冬に備えて、市には体制づくりの見直し、また、将来の網走市を見据えて事業継続していける仕組みをつくるのが今求められています。

## 流水

今の時期、明治の道端にマムシグサの真つ赤な実が見られます。茎の柄がマムシに似ていることからこの名がついたそうです。我が家の三男が二歳の時、家の裏に生えたマムシグサの実を持ち歩きペロペロとなめていたら突然に大泣き！直ぐに病院に行き手当てしてもらったのを思い出します。無数の小さな針でチクチク刺される痛みなのだそうです。▼今は22才の大学生ですが幼少期は白いご飯と納豆で育ったと言えくらいい好き嫌いがはげしい子でした。しかし、小学校、中学校の給食はちゃんと食べていました。一日に必要な野菜やビタミンなどが入った学校給食でしっかりと支えられていたと言えます。▼10月30日から市長選が始まりました。少子化が進み出生者数は年に180人にまで落ち込んでいます。給料の上がらない国、日本では、子どもを産みたくても負担が大きくて産めない現状が続いています。若い世代を社会全体で応援できる環境を整える。給食費無償化と高校生までの医療費無償化を少しでも早く実現してほしいと思います。

直ちゃん

